

【様式1】

学校名 <b>南城市立大里北小学校</b>	連絡先 TEL : <b>098-945-2362</b> Eメール : ookita-kyoutou@edu.city.nanjo.okinawa.jp
--------------------------	--

主体的に学習に取り組み、他者との交流を通して「確かな学力」の向上を図る

1 実践内容

(1) カリキュラムマネジメントの取組における学習指導

①4月と夏休みに教科横断的な学習の実践にあたって、効果的に学習を進めるために、カリキュラムマネジメントの確認と見直しを行った。

(2) コロナ禍における児童の「学びの保障」の好事例

①休校期間中に、児童の「学びの保障」を行うために、学習形態を工夫したり、課題プリントを用意して配布したり、タブレットを活用して、リモート授業を実施した。

②オープン教室の間に仕切りを増設して、児童間の距離を確保し、授業の通常実施に努めた。

2 具体的な取組

(1) 学習規律の徹底（大里北10の学習ルール）

「確かな学力」の定着にむけ、その素地となる学習規律を身につけさせるため、「大里北10の学習ルール」を設定し、達成状況を廊下へ掲示し児童の意識づけを行っている。

【10の学習ルール掲示用】

(2) 「大里北ベーシック」を活用した授業展開の実践

①算数科等の授業において、全校統一した学習スタイルで授業を展開している。

②黒板を3分割して授業の流れを提示し、学習の流れに見通しを持たせている。

③児童の「思考力・判断力・表現力」の向上をめざした、「Output」（前時の振り返り・問題を読む・めあて・予想の交流・自力解決・交流活動・まとめ・振り返り）を授業の中で数多く実践する。

④「めあて」を板書した後、正対させるために、めあての一文を使って「まとめ」の書き始めを提示して、ゴールの見通しを持たせた。



予想の交流

(3) 休校期間中におけるタブレットを活用した授業展開

①休校期間中に児童の生活リズムを整えるために、高学年を中心に朝の会を実施。

②「学びの保障」のためのリモート授業の実施。

③タブレットを介しての課題の配布と提出。

（ペーパーレス化と迅速性・確実性が図られた。現在も継続）



タブレットでのリモート学習

3 成果・課題・改善策

(1) 成果

○「10の学習ルール」では、定着率を『赤・黄・青』に視覚化することで、児童の意識の向上がみられ、徐々にではあるが、学習規律が身に付いてきている。

○交流活動を通して、自分の考えを他者に伝えることができるようになってきた。

○高学年では、タブレットを活用することで、休校期間中の児童の健康状態の確認ができたり、リモートで学習を進めたり「学びの保障」ができた。

(2) 課題

●低学年においては、タブレット操作技能の習得が容易ではなく、リモート学習を進めることができなかった。

●「10の学習ルール」で、定着率が上げ止まり、低い項目が見られる。

(3) 改善

☆日頃の学習からタブレットを活用した学習に取り組み、操作技術の向上に努める。